

『重い』 作：ポチ子

『重い』 作：ポチ子

こんなに重たい心臓なら、

どこかに置いていけたらいいのに。

きつとこの胸の痛みは、

心臓が動いているせい。

歩くだけで息が切れる。

この心臓が無くなれば、

もっと楽に生きられるはずだ。

この心臓が止まったら、

もっと楽に生きられるはずだ。

一定のリズムで痛みが走る。

毎日、毎日。

それなのにこの痛みに慣れることはない。

昔はもっと軽かった。

前屈みになって歩く必要がないくらい。

変わったしまった、私の心臓。

疲れてしまったんだね。

私も、

私の心臓も。